

WEEKLY REPORT



2010-2011年度

CHIBA-HIGASHI
ROTARY CLUB

会長 神田 憲雄
幹事 吉田 宏一

国際ロータリー会長 Ray Klingensmith
第2790地区ガバナー 織田 吉郎
第3分区Aガバナー補佐 宇佐見 透

第891回例会 2011.4.11 (月)

本日のお客様

船橋西RC	相川 信善 様
大功自動車興業	リュウ ウェイ 様
稲毛新聞	劉 穎 様
	佐藤 尚美 様

会長挨拶

神田 憲雄 会長



こんばんは。昨日の千葉市議会議員の選挙で茂手木先生が再選されました。おめでとうございます。これからもご活躍されることを願っています。本日は東日本大震災の義捐金募金をさせていただきます。4月20日までにガバナー事務所に送りたいと思いますので、宜しくお願いします。一日も早い被災地の復興を祈ります。

幹事報告

吉田 宏一 幹事



皆さんこんばんは！
それでは幹事報告をさせていただきます。
本日は2点ございます。

- ◆ 先週もご案内いたしましたでしたが、次週4月18日は市川シビックRCとの合同例会となります。早めに集合していただいて、市川シビックの皆様をお迎えしたいと思います。出席表を回覧します。
- ◆ こちらも先週ご案内いたしましたでしたが、市川シビックRCが創立20周年記念式典を開催いたします。5月21日土曜日3時15分受付、4時点鐘です。会場は浦安ブライトンホテルです。多数の出席をお願い致します。第3回日本台湾ロータリー親善会議は中止となりました。回覧いたしますのでご覧ください。

今月の祝い



お誕生日祝

佐野 善房 会員



PETS報告

宍倉会長エレクト



2011-2012 RI 会長のカルヤン・バルジー氏は「こころの中を見つめよう 博愛を広げるために」をテーマとして掲げている。そして、3つの強調事項に力を注ぐとしている。すなわち、一つ目は「家族」、二つ目は「継続」、三つ目は「変化」と

している。

「家族」は母と子から始まる。「継続」は得意とすることは何かを知り、それを継続しながら次のレベルに高めていく。「変化」は改善できること、変えるべきことを見据え、必要な変化をもたらしていくために行動しなければならない。

● 織田ガバナーの話

今年の会長は震災後1年目の会長である。ロータリーの役目がこれから問われる。

会長のタイプとして2種類ある。無事に過ごすタイプと果敢にチャレンジするタイプがあるが、この一年を問題解決に取り組んでもらいたい。

現在、世界の会員数は120万人であるが、この7年間で120万人の会員が退会している。

ロータリーの原点に立ちかえる必要がある。ポール・ハリスは「ロータリーは親睦と奉仕の間に宿る」としていた。「こころを求めて例会に集い、奉仕を実践するために外に出る。」ことに努めていただきたい。また、クラブ会長に求められることは、「真摯であること」である。

● 崎山研修リーダーの話

CLPは目的でなく、ロータリー活性化の手段である。クラブの活性化がよりよく維持され拡大するならば、委員会は今までの委員会でもよい

● 山田ガバナー・エレクトの話

より強力な、魅力あるクラブになるために、地区として、次の10項目からなる重点目標を掲げる。

1. 五大奉仕部門への理解と実践
2. 各クラブ10%の会員増強
3. 会員研修の充実
4. クラブ例会の充実
5. 職業奉仕の重要性の再確認
6. 各クラブで社会奉仕部門での新規事業の立ち上げの検討と実践
7. 国際奉仕活動への関心と実践
8. 新世代の健全な育成
9. ロータリー財団と米山奨学会への理解と協力
10. RI 国際大会への推進

● 地区クラブ奉仕委員会・石井委員長の話

会員増強については、増強は無論のこと会員維持に知恵を絞り全力を挙げて対処していただきたい

広報・IT委員会については月信に年4回掲載しているがさらに充実させたい。

クラブ研修委員会は山田次期ガバナーが掲げている五大奉仕部門への理解と実践、会員研修の充実、クラブ研修の充実が図れるように取り組む。

● 地区職業奉仕委員会・始平堂委員長の話

活動計画は10-11年度の「なぜ、ロータリーは職業奉仕を大切にしているか」というテーマを引き続き実施していく。また、各クラブの会長・幹事・職業奉仕委員長を対象にしたセミナーの一を開催する。

● 地区社会奉仕委員会・菅井委員長の話

決議23-34(ロータリーの綱領に基づくすべての実践活動に対する指針)を各クラブで今一度研修していただきたい。

● 地区国際奉仕委員会・土屋委員長の話

7月23日に国際奉仕委員会のセミナーを開催する。WCSがなくなった後の問題、青少年の留学希望者の減少等について協議したい。

● 地区新世代奉仕委員会・津留委員長の話

RYRA委員会、インターアクト委員会、ロータリーアクト委員会の小委員会がある。各クラブでインターアクト、ロータリーアクトをクラブ提唱プロジェクトに入れてもらいたい。

地区奉仕活動資金勘定の40%をこの委員会が占めている。この点について、関心と理解を持っていただきたい。

● 地区ロータリー財団・河原委員長の話

寄付には年次寄付、使途指定寄付、恒久基金寄付の3種類がある。年次寄付の半分が3年後に地区にバックされる。これが地区財団活動資金として有益な活動に使われる。このことをまず理解してもらいたい。

● 地区ロータリー米山記念奨学会・山本委員長

これまで119の国と地域の累計15,776人の小学生を支援してきた。当地区の寄付金額の平均は全国平均に及ばない。更なる上積みをお願いしたい。



茂手木 会員

お世話になります。なんとか当選する事が出来ました。



高 会員

五福RC 東日本地震に対して寄付金について。謝々。



池田 会員

茂手木会員 当選誠にありがとうございました。



飯田 会員

最近恐ろしいニュースばかりの中、今日は茂手木会員当選おめでとうございます。これからも被災地の支援活動に奉仕したいと思います。



佐藤 会員

茂手木先生 当選おめでとうございます。



宍倉エレクト

PETSに出席し、新しい年度に向かって努力の必要性を感じております。

計 27,000円

累計 ¥1,056,980円

本日各テーブルに地震災害支援金の募金箱を廻し、皆様よりご協力いただきました。

61,000円集まりました。

後日クラブとしての義援金と併せてガバナー事務所に送金します。